
口に出すのと思うのと。

?LoveMe.

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

口に出すのと思うのと。

【Nコード】

N25450

【作者名】

? Love Me .

【あらすじ】

ほかの奴より何かに興味持ったりすることが少ない。

夢というものがない。

学校生活を楽しいと思っただことが無い。

自分の周りの奴をダチだと思っただことが無い。いつも死ねと想ってる。

俺。 只今思春期高校生。

・プロローグ・俺の考え。

今日もアイツ等のこと『死ね』と思った。

一日の間で人に対してこの感情を何回抱いているのだろうか。

こんな考えを持ってんのは俺だけじゃなえんだろっけど。

*

名無し：そう、自分で言うが、俺はイイ奴な方なんだ。

：なぜ？

名無し：『死ね』と言う言葉を口に出さないから。

：それはイイ奴なのか？

名無し：ああ。イイ奴だ。

：…そうか。

*

ここ最近というのは異常気象やらなんやらで、月数的にはもう秋と
いうのに涼しさというか過ごしやすさが感じられない。しかも学生
には2学期^{II}イベントが多い学期 という方程式が存在しているわ
けで。考えは2つに分かれる。ちなみに俺は「体育祭も文化祭もめ
んどくさい。やりたかねえよ」派だ。このクソ暑いなか（体育祭な

んか特に)無駄に動いたりしたら体力がもたん。今年は絶対優勝しようぜなどと戯言ぬかしてる野郎を見ると心底思う、「お前まじ馬鹿だな」

だが逆に、人生楽しんでていいな、羨ましいいな、と思うこともある。

たまーに起こる気分には過ぎないが。

・プロローグ・俺の考え。(後書き)

初めて投稿させて頂きました。学生で文脈がおかしなところなどあると思いますが宜しくお願いします。

連載ペースは遅いと思われませんがより多くの人に見て頂けると嬉しいです。

体育祭【視線の先】

まあ一応、夏休み中も俺が所属している陸上部は行われていたから体がなまってる、ということとはなかった。夏休み前には体育祭の話なんぞ少つつしもしないくせに明けたらいきなりこれだ。毎朝毎朝走らされすぐに定期テスト、中間テストがあるからと家では勉強ばかりやらされ（やってはいないが。）ゲーセンなんかには教師が見回り巡回している。オマケに部活最期の大会も近付いてきてる。本当にめんどくさい時期だ。早く3学期になつてくれよ。

と、俺は長距離リレーの練習、ということとで1800m走らされている最中に思っていた。あと残り何週だ……。トラック1周分が200mだから1800÷200で9。今やつと3週目になるってとこか。おいおい、もうぶっ倒れそうだったのにあと6周ちよいもあんのかよ……。

長距離リレーの選手でなくもう休憩に入ってる女子たちを横目で見ると「アイツがんばってんじゃん」「けっこカツコイイじゃん」などとガールズトークに花を咲かせていた。「アイツ」とは一体誰のことだ？まあ何にしるお前等みたいいなブスに惚れられたところで嬉しくもなんともないむしる断るが。で、そんなことはいいとして本当あと……。今からなら5周はどうしのごう。死ぬぞ？ホント俺死ぬぞ。たしかに体はなまってはいないと言ったが毎日走ってるせいで俺今筋肉痛なんだよ。みんなそんなの同じだから、頑張ろうぜ！とかぬかしてる奴がいたがふざけるな。俺は陸上部でも飛びぬけて運動神経がいいから将来有望だと教師どもに散々おだてあげられて別にそんな言葉嬉しくもないにも関わらず他の奴等より練習メニュー

ーを上げられているんだぞ。つーかお前等もしつてんだろその事。髪だつてもう少しのばしたかったのに空気抵抗を減らすだかなんだかで切れ切れ言われ最終的にスポーツ刈りは逃れたもののかなり髪が短くなった。ちくしょう。

残り3周・・・もう喉カラツカラだ。

本気で苦しくなった頃、俺の視界には・・・ソイツが映った。

・・・あれ誰だ？・・・

テニスコート側の金網の向こうすぐに、見た事の無い・・・あれは男？かな？・・・がコツチを向いて立っていた。まさか俺を見ているというわけではないだろうし、年齢は14、15ぐらいか・・・。大よそ、男は来年だか再来年だか知らんがこの高校に入学したいと思っでいて、ちょっと見学に来てみたつてとこだらう。

というかアイツ、あの年齢（見たところだが）にして髪が藍色。しかも肩にそろそろ付くぐらいの長さ。中坊のくせに生意気な。見たところだが。

そいつをガン見てるといつのまにか俺はリレーを完走しており、数分後本日最終授業終了のチャイムが鳴った。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2545o/>

口に出すのと思うのと。

2010年10月19日11時18分発行